

# インターネット接続サービスのIPv6対応に向けた国内動向調査結果概要

---

## ■ 目的

- ISPにおいて本格的にインターネットのIPv6接続サービスが開始されたことを受け、各種インターネット事業者の最新のIPv6接続サービス対応状況を把握すること。

## ■ 調査実施者

- 総務省(三菱総合研究所に委託)

## ■ 調査時期

- 2014年12月上旬～2015年1月上旬(調査基準時点:2014年12月1日)

## ■ 調査対象

- ISP(移動体通信事業者を含む。以下同じ。)738社、iDC事業者(ホスティング、IaaSを含む。以下同じ。)315社、ASP(CSP、CDN、SaaS、PaaS、を含む。以下同じ。)590社に対して、アンケートを郵送配布し、Web入力による回収を実施。

## ■ 回収数

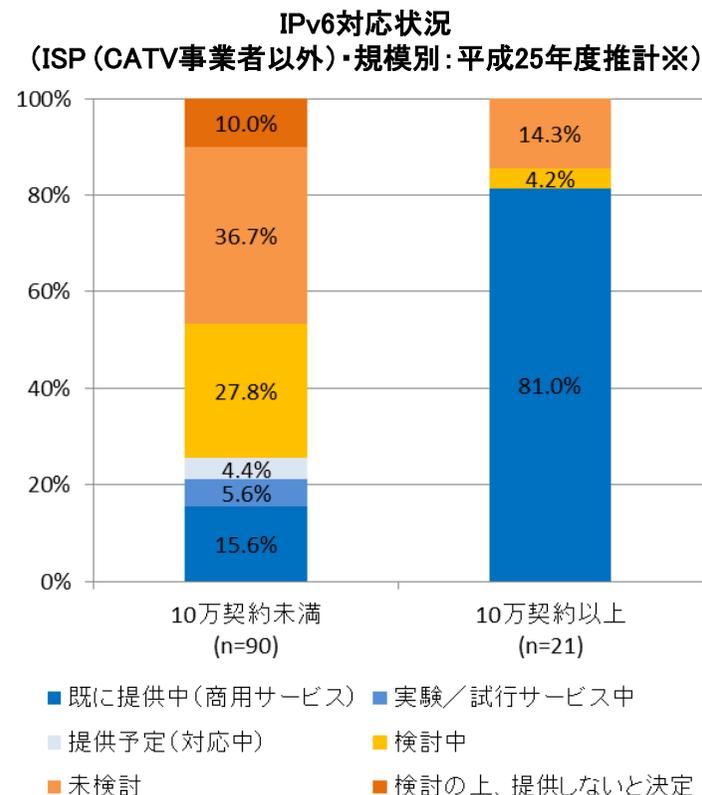
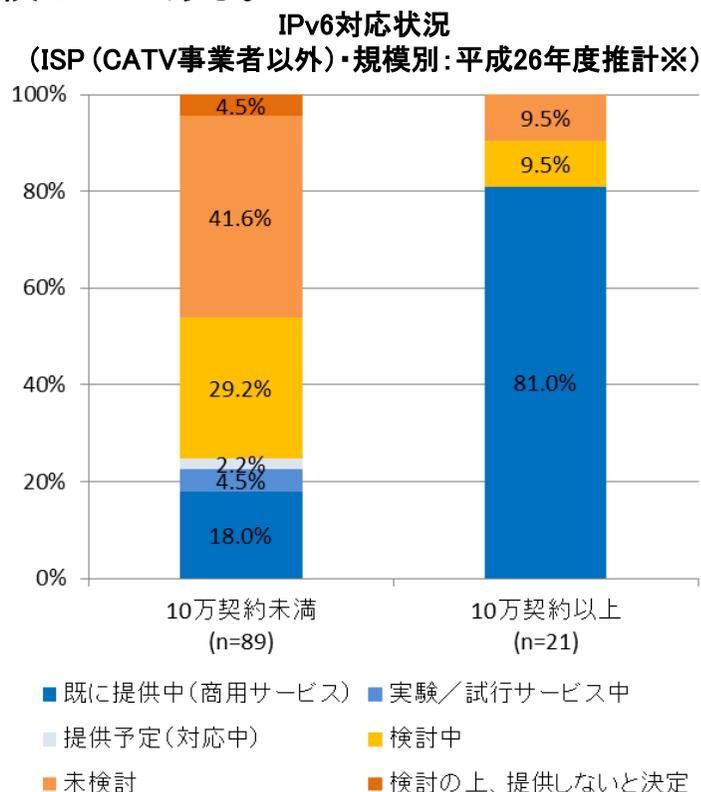
- ISP 229社(回収率:31.0%)
- iDC事業者57社(回収率:18.1%)
- ASP 67社(回収率:11.4%)

## ■ 調査項目

- IPv6対応サービス等の動向調査 等

# IPv6サービスの対応状況(ISP(CATV事業者を除く))

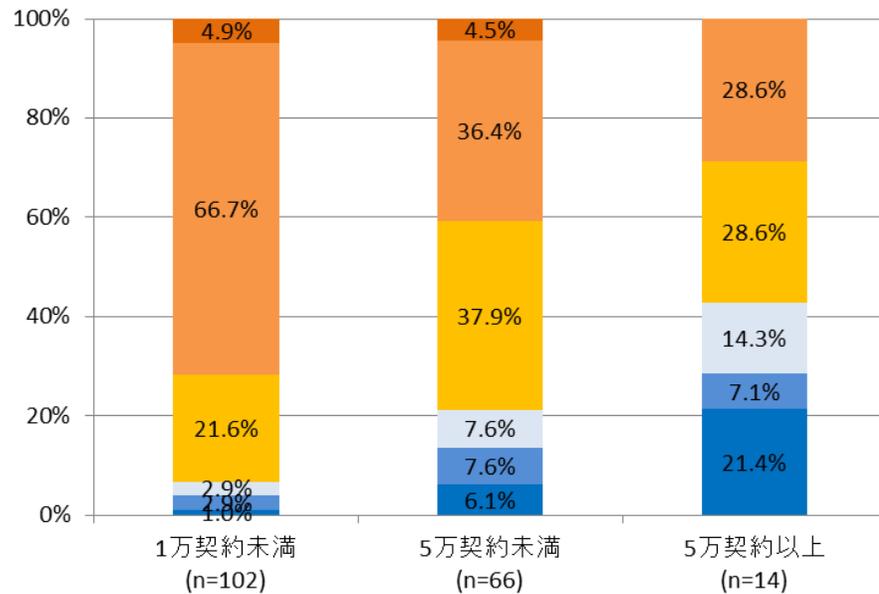
- CATV事業者を除くISPを事業規模別に比較すると、10万契約以上の利用者がある大規模事業者は、8割以上がIPv6に対応した商用サービスを「既に提供中」である。大規模事業者であって、対応していない事業者はマンションプロバイダが多い。
- 昨年度と比較すると、対応状況は10万契約未満の小規模事業者において微増しているが、全体的にはほぼ横ばいである。



※各年度で片方にしか回答していない事業者については、回答年度の結果を未回答年度の結果に写像することで推計している。また、合併した企業、廃業企業の除外等を行っている。以下同じ。

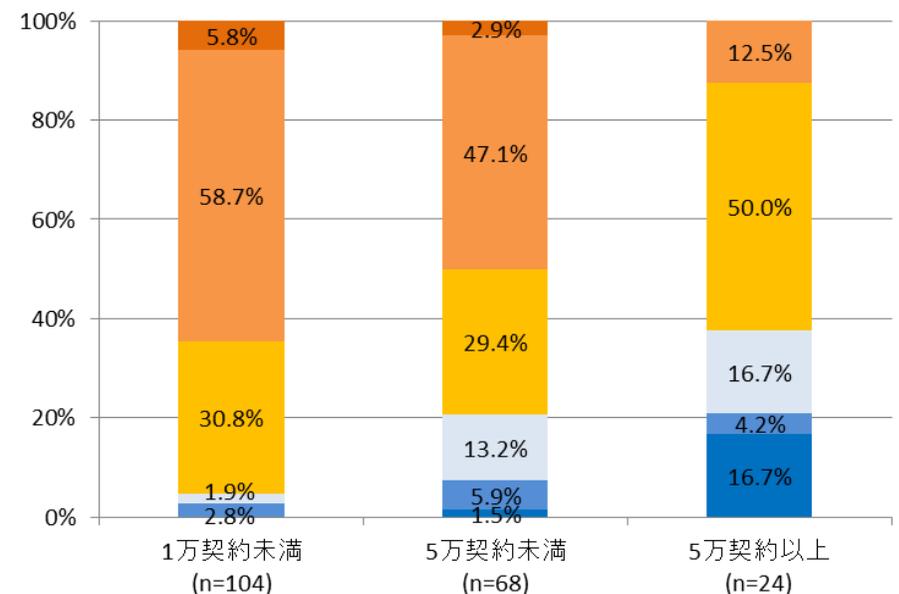
- CATV事業者については、5万契約以上の大規模事業者では、7割以上の事業者が検討中又はIPv6対応に着手しているが、1万契約未満の小規模事業者では未検討の事業者が7割程度と多くなっている。
- 昨年度と比較すると、対応状況は着実に増加しているものの、CATV事業者でないISPと比べるとIPv6化は遅れている。

IPv6対応状況  
(CATV事業者・規模別：平成26年度推計)



■ 既に提供中(商用サービス)    ■ 実験/試行サービス中  
■ 提供予定(対応中)        ■ 検討中  
■ 未検討                            ■ 検討の上、提供しないと決定

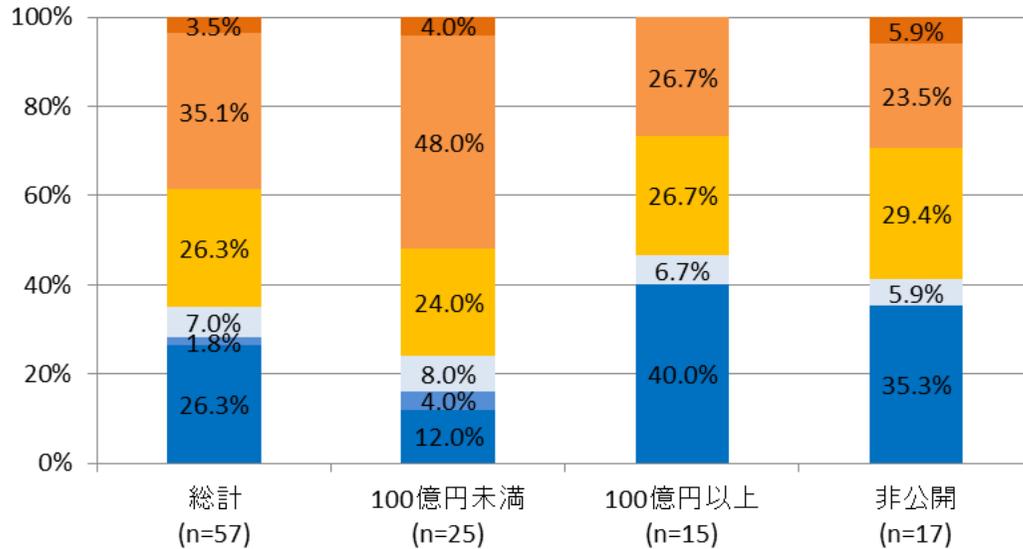
IPv6対応状況  
(CATV事業者・規模別：平成25年度推計)



■ 既に提供中(商用サービス)    ■ 実験/試行サービス中  
■ 提供予定(対応中)        ■ 検討中  
■ 未検討                            ■ 検討の上、提供しないと決定

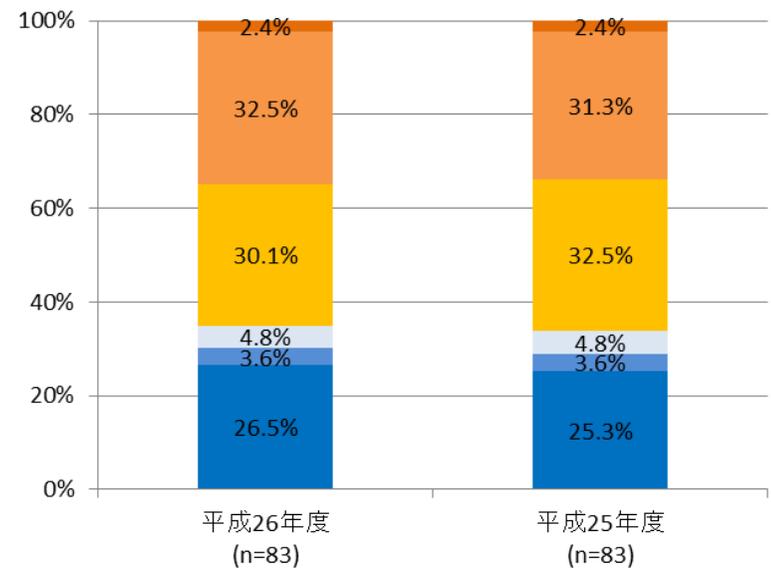
- iDC事業者については、規模別にみると、100億円以上の大規模事業者では4割が既に商用サービスを提供しているのに対して、100億円未満の小規模事業者では未検討の事業者が5割程度、検討中の事業者が1/4程度と、対応が進んでいない状況である。
- 昨年度と比較して、対応状況はほぼ横ばいである。

IPv6対応状況  
(iDC事業者・規模別：平成26年度実数)



- 既に提供中(商用サービス)
- 実験/試行サービス中
- 提供予定(対応中)
- 検討中
- 未検討
- 検討の上、提供しないと決定

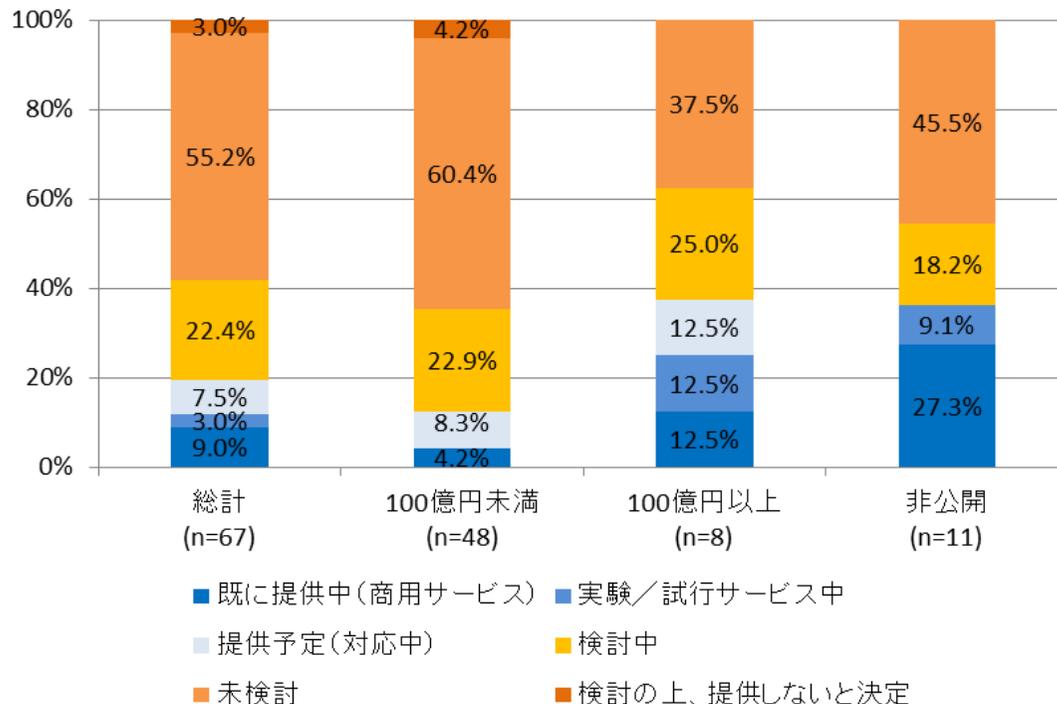
IPv6対応状況  
(iDC事業者：平成26年度、平成25年度推計)



- 既に提供中(商用サービス)
- 実験/試行サービス中
- 提供予定(対応中)
- 検討中
- 未検討
- 検討の上、提供しないと決定

- ASPでは、事業規模別に見ると、100億円以上の大規模事業者では12.5%が既に商用サービスを提供しているのに対して、100億円未満の小規模事業者では、未検討の事業者が60.4%、検討中の事業者が22.9%と、まだ対応が進んでいない状況である。
- 昨年度と比較して、対応状況はほぼ横ばいである。

IPv6対応状況  
(ASP・規模別：平成26年度実数)



IPv6対応状況の推移  
(ASP：平成26年度、平成25年度推計)

